



農業経営意向調査 調査結果報告書

(令和元年実施分)

～ いま耕されている農地を、耕せるうちに、耕せる人へバトンをつないでいくために ～

令和元年 11 月

加賀市農業委員会

～ 目次 ～

	頁
1 農業経営意向調査の概要	
(1) 調査の趣旨	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収結果	1
(6) 集計方法	2
2 調査結果	
問1 あなたの農業経営形態は	3
問2 あなたの農業経営規模（農地面積）は	4
問3 あなたの農業経営方法の見直し予定は	6
問4 あなたの耕作農地についての拡大又は縮小の意向は	7
問5 規模拡大の方法は	8
問6 規模縮小又は経営廃止の理由は	9
問7 家族等で農業経営を引き継ぐ方がいるか	10
問8 家族等で農業経営を引き継ぐ方がいない場合に誰に引き継ぐか	11
3 農業経営意向調査調査票（戸別訪問版）	12

1 農業経営意向調査の概要

(1) 調査の趣旨

農業者を取り巻く現在の環境は非常に厳しい状況にあり、担い手の不足や高齢化の進行などから耕作放棄地が増加し、耕地面積が著しく減少する傾向にあります。

そこで、耕作放棄地の発生防止と解消を図り、地域農業の継続的な発展を期するため、地域農業の中核を担っている認定農業者を対象に、5年後、10年後といった近い将来において現在の農業経営をどのようにしていきたいと考えているのか、その意向を把握し、これから耕作できなくなる農業者と今後経営規模の拡大を考えている農業者とをつなぐことで、荒廃化する前に速やかな措置を講ずることができるよう、必要な情報の取得を目的として昨年度に引き続いて実施したものです。

(2) 調査対象者

加賀市認定農業者（個人）のうち、65歳未満の方を調査対象としました。

ただし、年齢は令和元年10月1日現在の年齢で、平成31年4月1日現在で認定農業者であった方（調査日時時点で認定農業者でない方）を含んでいます。

なお、昨年調査において年齢基準日の関係から調査対象にならなかった方は、年齢基準日時点で65歳以上であっても調査対象としています。

(3) 調査方法

区分	調査対象者数	調査方法
郵送調査	86名	農業委員会事務局から調査対象者宅へ郵送により調査票を送付し、調査対象者が返信用封筒により記入後の調査票を農業委員会事務局へ返送する方法としました。
戸別訪問調査	74名	調査対象者が居住する区域を担当する農業委員又は推進委員が戸別訪問し、対面による聞き取りをする方法としました。
計	160名	

(4) 調査期間

令和元年10月1日から10月31日までの1か月間

(5) 回収結果

区分	調査対象者数	回収数	回収率
郵送調査	86名	58名	67.4%
戸別訪問調査	74名	70名	94.6%
計	160名	128名	80.0%

(6) 集計方法

回答結果の集計については、次のとおりとしています。

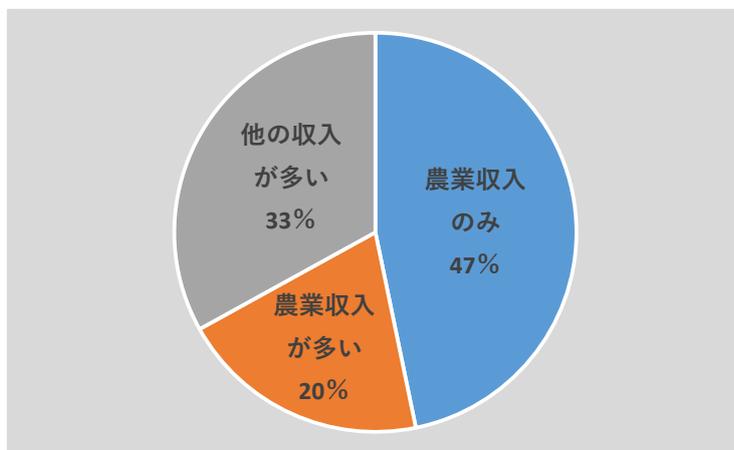
- ・平成 30 年調査では管内 12 区域ごとの集計をしていますが、調査対象者数が少なく意味合いが薄いため、今回の調査では区域ごとの集計は取り止めています。
- ・設問によっては、平成 30 年調査結果を含めた認定農業者全体の調査結果又は平成 30 年調査結果も参考に掲げて、比較しやすいようにしています。
- ・回答いただいた調査票のうち設問によっては無回答のものがあり、それを集計から除いていますので、設問ごとに合計数が異なる場合があります。
- ・矛盾した回答がある場合は、調整をしているものがあります。例えば、問 3 で「1 見直しを考えていることはない」に○印が付してあるのに、「3 省力化（機械化）を進めたい」にも○印が付してある場合は、「3 省力化（機械化）を進めたい」を選択されたものとして集計しています。
- ・グラフはすべて比率で表示しています。
- ・集計結果のコメントを付していますが、一つの捉え方としてお読みください。

2 調査結果

現在の農業経営の状況について

問1 あなたの農業経営形態は（1つに○）

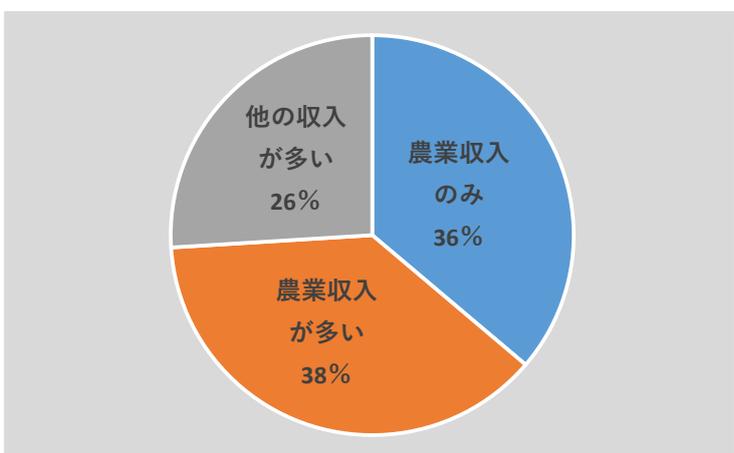
□令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=124人/128人



一般的に農業収入が高くないと言われる状況下において、「農業収入のみ」と回答された方が47%を、「農業収入が他の収入よりも多い」と回答された方が20%を占め、65歳未満の認定農業者全体で70%近くの方が農業収入により生計を維持されています。

区分	人数	比率
農業収入のみ	58人	47%
農業収入が多い	25人	20%
他の収入が多い	41人	33%
計	124人	100%

□平成30年調査結果（65歳以上の認定農業者） 有効回答数=127人/128人



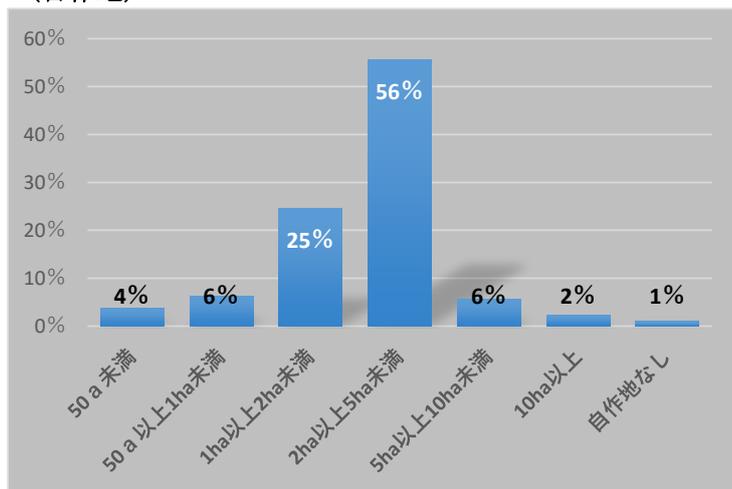
昨年度の調査結果では、「農業収入のみ」が「農業収入が他の収入よりも多い」を下回る結果となりましたが、全体として70%を超える方が主として農業収入により生計を維持されています。

区分	人数	比率
農業収入のみ	46人	36%
農業収入が多い	48人	38%
他の収入が多い	33人	26%
計	127人	100%

問2 あなたの農業経営規模（農地面積）は（それぞれ1つに○）

□令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=126人/128人

（自作地）

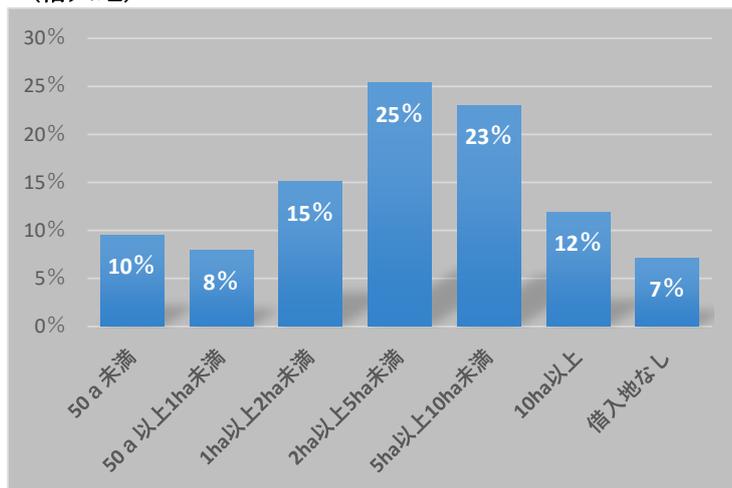


65歳未満の認定農業者が所有している自作地は2ha以上5ha未満が全体の半数を超えて、1ha以上2ha未満が25%を占めています。

全体として81%の認定農業者が1ha以上5ha未満の自作地を所有されています。

区分	人数	比率
50 a 未満	5人	4%
50 a 以上1ha未満	8人	6%
1ha以上2ha未満	31人	25%
2ha以上5ha未満	70人	56%
5ha以上10ha未満	7人	6%
10ha以上	3人	2%
自作地なし	2人	1%
計	126人	100%

（借入地）



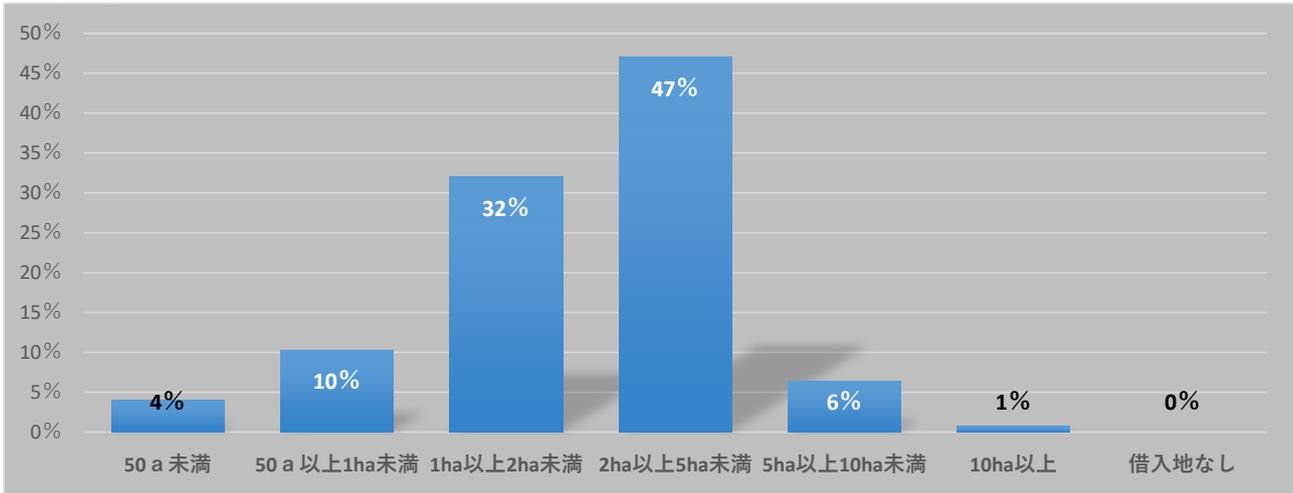
地域の担い手である65歳未満の認定農業者の90%以上の方が借入地で耕作していることが分かります。

これらの担い手に後継者がいない場合には、現在耕作している借入地が荒廃化しないよう、耕作をやめるタイミングに合わせて、耕作できる担い手へのマッチングを図ることが必要になってきます。

区分	人数	比率
50 a 未満	12人	10%
50 a 以上1ha未満	10人	8%
1ha以上2ha未満	19人	15%
2ha以上5ha未満	32人	25%
5ha以上10ha未満	29人	23%
10ha以上	15人	12%
借入地なし	9人	7%
計	126人	100%

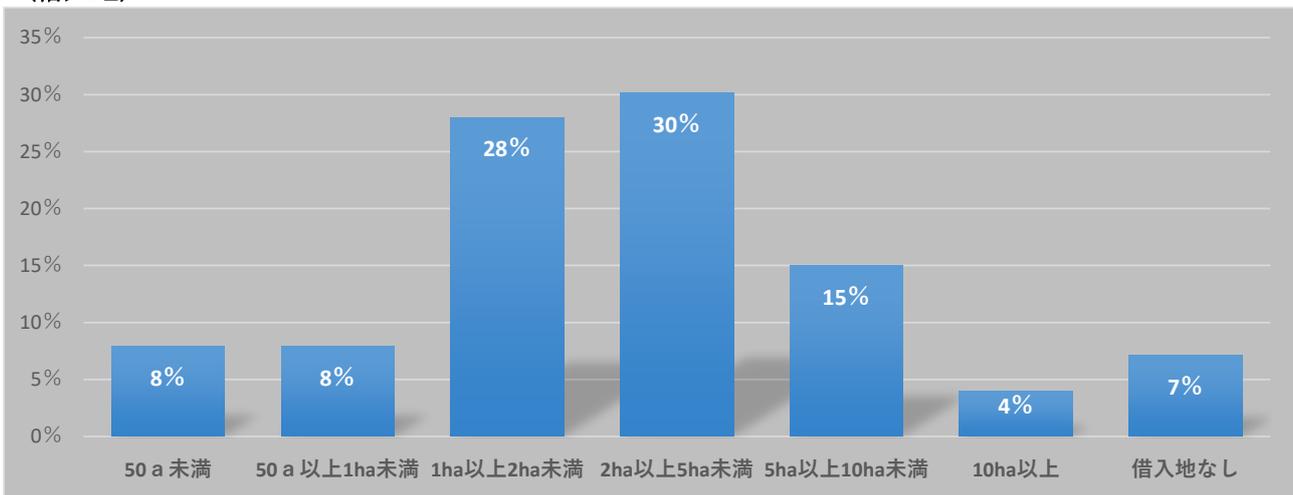
□平成30年調査結果（65歳以上の認定農業者） 有効回答数=128人/128人

（自作地）



区分	人数	比率
50 a 未満	5人	4%
50 a 以上1ha未満	13人	10%
1ha以上2ha未満	41人	32%
2ha以上5ha未満	60人	47%
5ha以上10ha未満	8人	6%
10ha以上	1人	1%
借入地なし	0人	0%
計	128人	100%

（借入地）

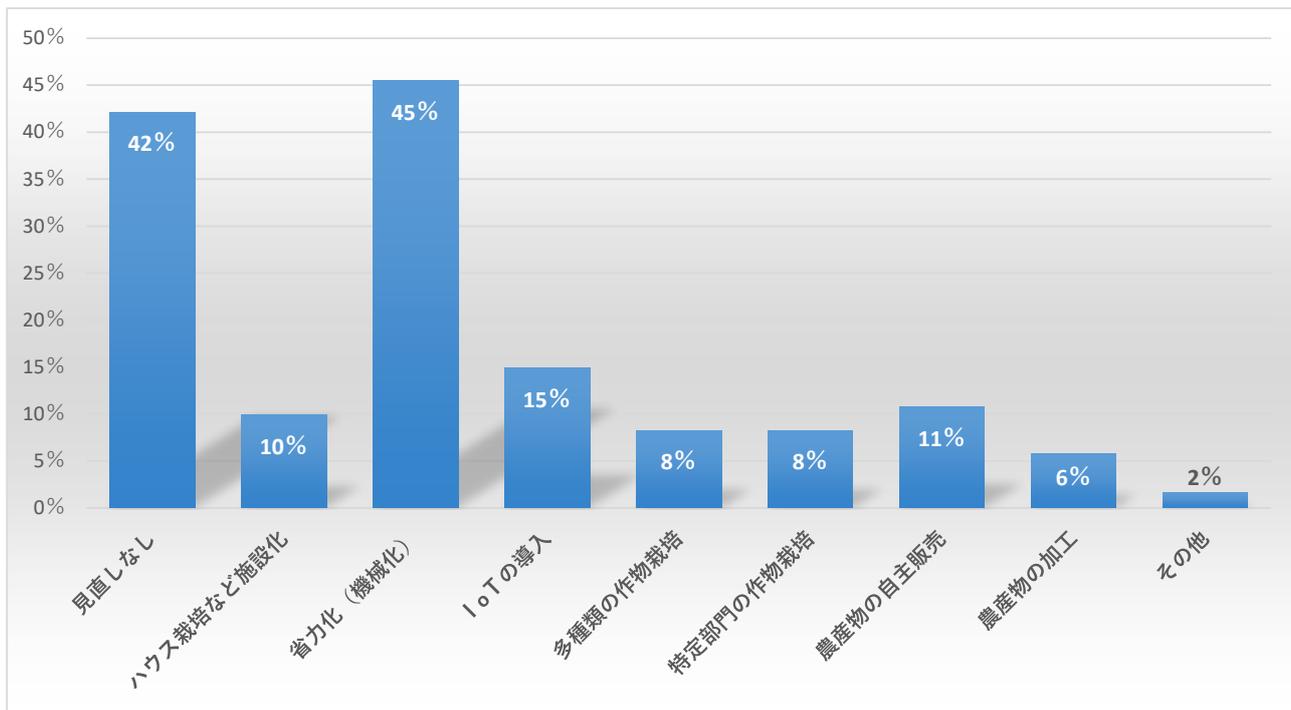


区分	人数	比率
50 a 未満	10人	8%
50 a 以上1ha未満	10人	8%
1ha以上2ha未満	36人	28%
2ha以上5ha未満	38人	30%
5ha以上10ha未満	20人	15%
10ha以上	5人	4%
借入地なし	9人	7%
計	128人	100%

今後の農業経営について

問3 あなたの農業経営方法の見直し予定は（当てはまるものすべてに○）

令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=121人/128人



区分	人数	比率
見直しなし	51人	42%
ハウス栽培など施設化	12人	10%
省力化（機械化）	55人	45%
I o Tの導入	18人	15%
多種類の作物栽培	10人	8%
特定部門の作物栽培	10人	8%
農産物の自主販売	13人	11%
農産物の加工	7人	6%
その他	2人	2%

今後の農業経営に関して見直しの予定がないと回答された方が42%を占めています。

一方、農業収入が低いという現状を解消するため、省力化（機械化）を図って農業経営の効率化を目指している方が45%を占めています。I o Tの導入についても省力化の一形態と考えられますので、これを含めると60%の方が効率的な農業経営を目指していることが分かります。

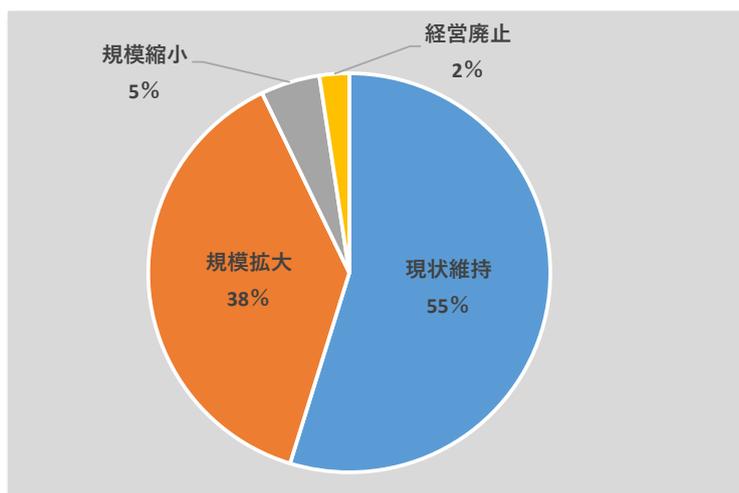
なお、農産物の自主販売や加工など6次産業化の取組みについては新たな出費が伴うことから意向者は少なく、17%となっています。

※ 「その他」の記載内容

- ・果樹、野菜へのシフト
- ・コストダウン

問4 あなたの耕作農地についての拡大又は縮小の意向は（1つに○）

□令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=126人/128人

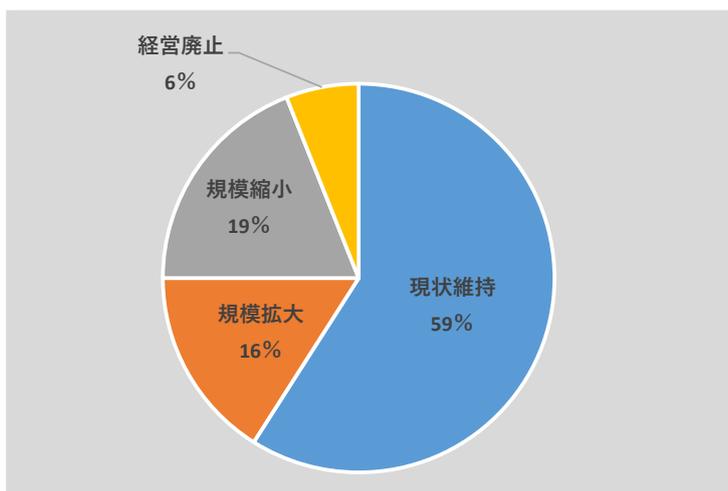


現在の耕作農地を維持される方が55%を占めています。これは昨年度調査の65歳以上の認定農業者の方（59%）とほぼ同じ割合となっています。

一方、規模拡大は38%で、規模縮小又は経営廃止は7%を占めており、これは昨年度調査の規模拡大が16%で、規模縮小又は経営廃止が25%と比較して、年齢的な差によるものと考えられます。

区分	人数	比率
現状維持	69人	55%
規模拡大	48人	38%
規模縮小	6人	5%
経営廃止	3人	2%
計	126人	100%

□平成30年調査結果（65歳以上の農業者全体） 有効回答数=126人/128人



65歳以上の認定農業者では、現状維持が59%を占め、65歳未満の認定農業者とほぼ同じ割合を占めました。

一方、規模拡大が16%で、規模縮小又は経営廃止が25%を占めており、65歳未満の認定農業者と比較して、年齢的な差が顕著に表れています。

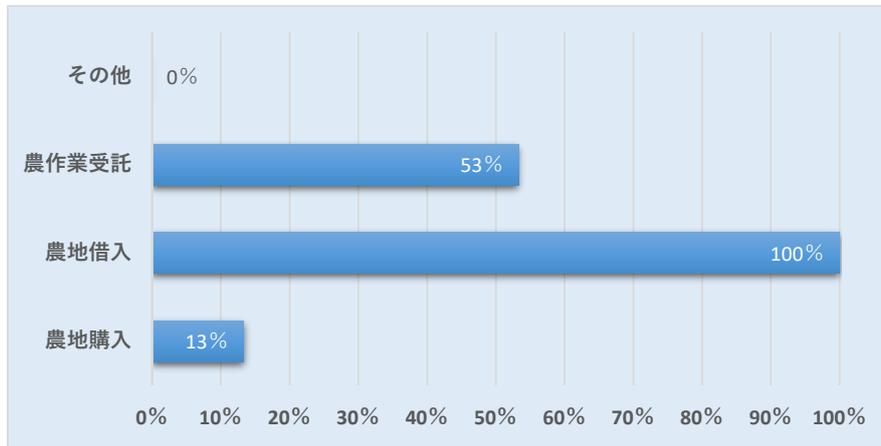
区分	人数	比率
現状維持	74人	59%
規模拡大	20人	16%
規模縮小	24人	19%
経営廃止	8人	6%
計	126人	100%

問5 規模拡大の方法は（当てはまるものすべてに○）

※問4で「2 規模を拡大したい」を選択された方

□令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者のうち規模拡大意向者）

有効回答数=45人/48人



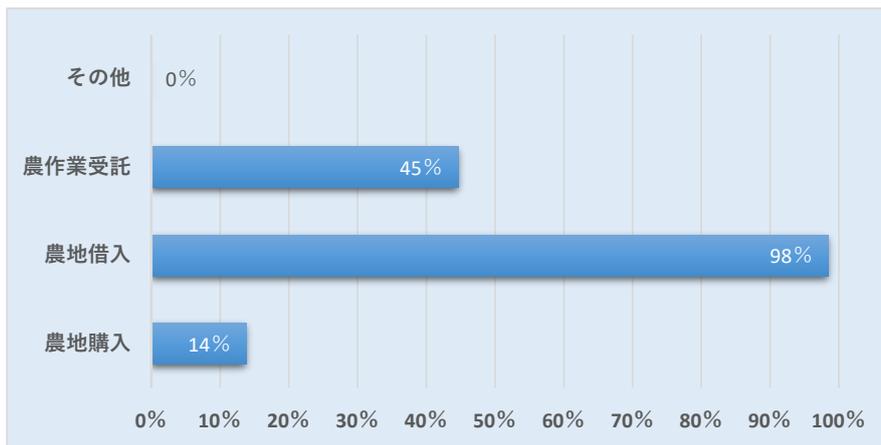
規模拡大の方法としては、農地を購入して自己所有地とすることは僅か13%となっており、農地を購入してまで規模を拡大する意向は少ないようです。

規模拡大の方法としては、農地借入又は農作業受託によることを掲げる方が多数を占めています。

区分	人数	比率
農地購入	6人	13%
農地借入	45人	100%
農作業受託	24人	53%
その他	0人	0%

□平成30年調査結果+令和元年調査結果（認定農業者全体のうち規模拡大意向者）

有効回答数=65人/68人



認定農業者全体でも65歳未満の認定農業者と同様の傾向を示しており、規模拡大の方法として、農地借入又は農作業受託が多数を占めています。

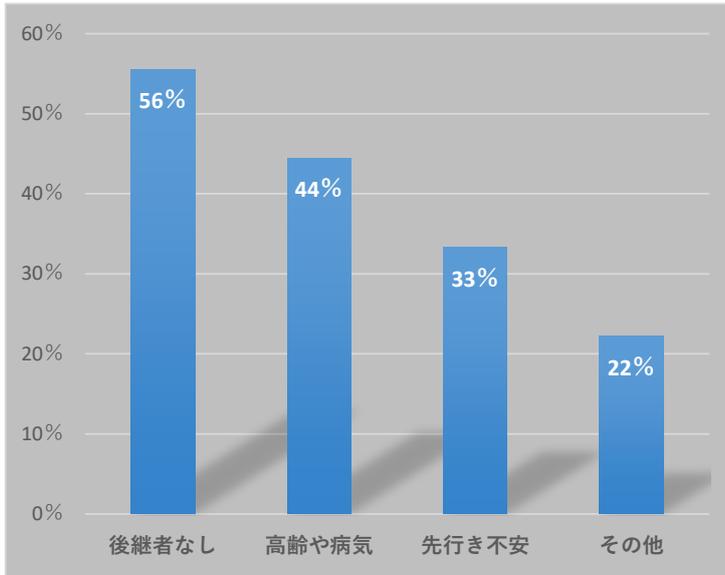
区分	人数	比率
農地購入	9人	14%
農地借入	64人	98%
農作業受託	29人	45%
その他	0人	0%

問6 規模縮小又は経営廃止の理由は（当てはまるものすべてに○）

※問4で「3 規模を縮小したい」又は「4 農業経営をやめたい」を選択された方

令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者のうち規模縮小又は経営廃止意向者）

有効回答数=9人/9人



規模縮小又は経営廃止の理由として、「後継者がいない」又は「高齢や病気により十分に働けない」を掲げる方がそれぞれ約半数を占めています。

「農業経営に魅力がなく、先行き不安」を掲げる方は、昨年度調査では9%を占めていますが、65歳未満の認定農業者では33%を占めており、これも年齢的な差が表れた結果となっています。

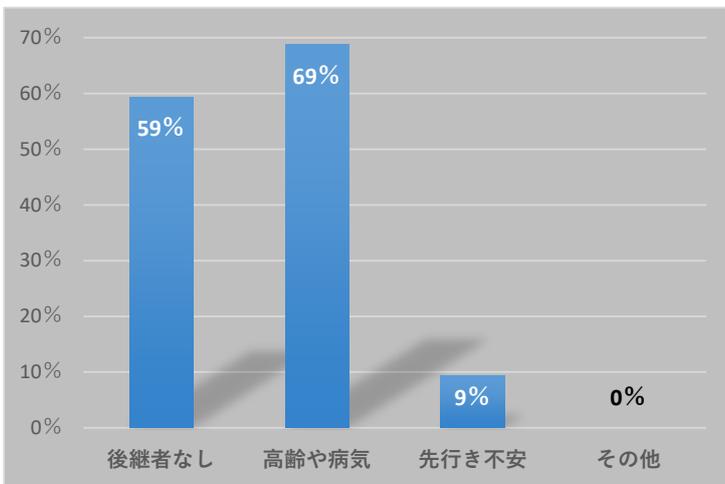
※「その他」の記載内容

- ・離れた農地の維持管理が困難
- ・粉塵や騒音などによるクレーム

区分	人数	比率
後継者なし	5人	56%
高齢や病気	4人	44%
先行き不安	3人	33%
その他	2人	22%

平成30年調査結果（65歳以上の認定農業者のうち規模縮小又は経営廃止意向者）

有効回答数=32人/32人



65歳以上の認定農業者では、「病気や高齢により十分に働けない」を理由に掲げる方が69%を占め、年齢的な心身面の衰えによるものと考えられます。

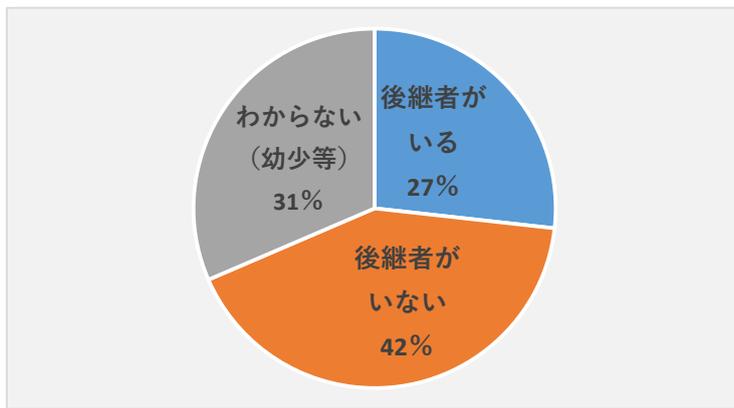
一方、農業経営に魅力がないなど先行き不安を掲げる方が9%と65歳未満の認定農業者と比較して低い数値を示しており、現実的な問題を掲げる傾向が表れていると考えられます。

区分	人数	比率
後継者なし	19人	59%
高齢や病気	22人	69%
先行き不安	3人	9%
その他	0人	0%

農業の担い手について

問7 家族等で農業経営を引き継ぐ方がいるか（1つに○）

□令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=127人/128人

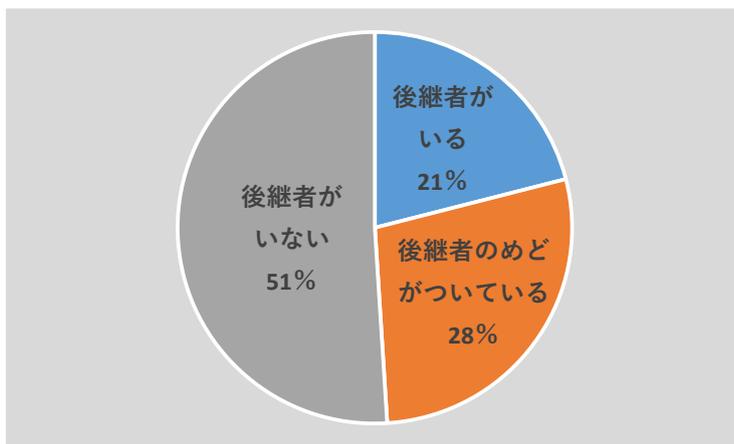


この設問は昨年度調査と選択肢を変更したため年代による比較はできませんが、後継者がいないことが明らかとなっている方が42%を占めており、昨年度調査による結果（51%）とほぼ同じ割合になっています。

区分	人数	比率
後継者がいる	34人	27%
後継者がいない	53人	42%
わからない (幼少等)	40人	31%
計	127人	100%

□平成30年調査結果（65歳以上の認定農業者） 有効回答数=126人/128人

※ 平成30年調査の設問は令和元年調査と同趣旨の設問であるが、選択肢として「後継者がいる」及び「後継者がいない」という選択肢のほか、「後継者のめどがついている」という選択肢を設定していた。

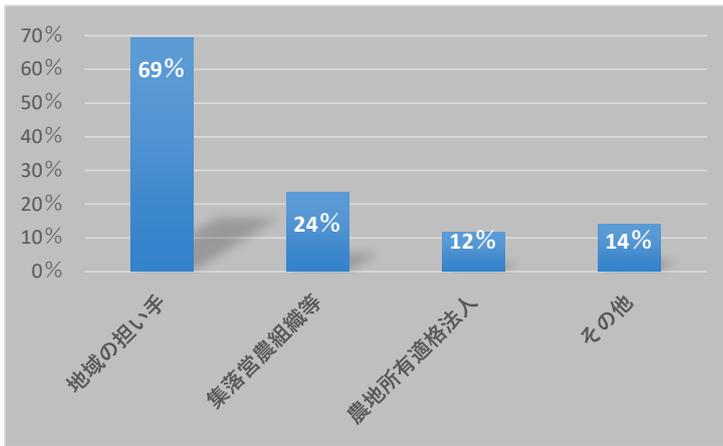


区分	人数	比率
後継者がいる	26人	21%
後継者のめどがついている	35人	28%
後継者がいない	65人	51%
計	126人	100%

問8 家族等で農業経営を引き継ぐ方がいない場合に誰に引き継ぐか (当てはまるものすべてに○)

※問7で「2 農業後継者がいない」又は「3 わからない」を選択された方

令和元年調査結果（65歳未満の認定農業者） 有効回答数=85人/93人



後継者としてご自身の身内等に期待できない場合は、地域の担い手に引き継ぎを望まれる方が大半で、回答者の69%を占めています。

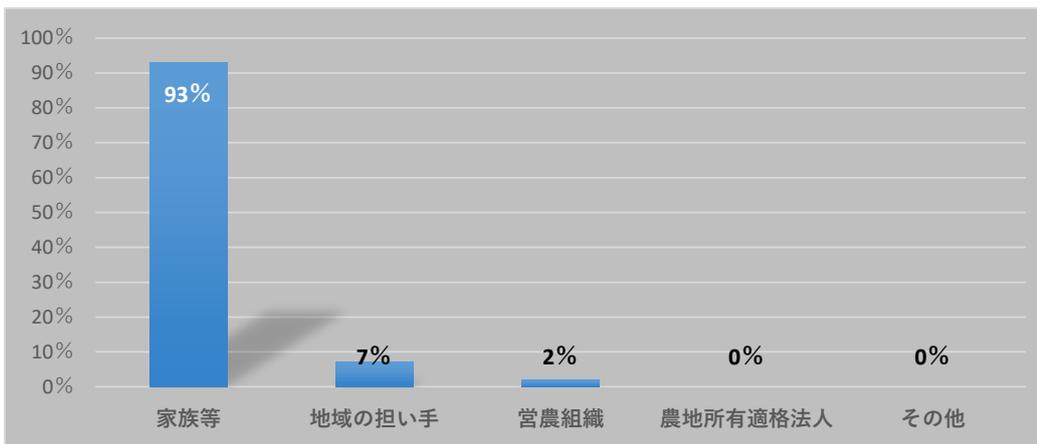
※「その他」の記載内容

- ・特定法人へ一任
- ・法人化して経営移譲
- ・町の生産組合へ一任 など

区分	人数	比率
地域の担い手	59人	69%
集落営農組織等	20人	24%
農地所有適格法人	10人	12%
その他	12人	14%

平成30年調査結果（65歳以上の認定農業者） 有効回答数=61人/61人

※平成30年調査の設問は、「後継者がいる」又は「後継者のめどがついている」と回答された方の後継者は誰であるかを尋ねた設問であった。



区分	人数	比率
家族等	57人	93%
地域の担い手	4人	7%
営農組織	1人	2%
農地所有適格法人	0人	0%
その他	0人	0%

3 農業経営意向調査調査票（戸別訪問版）

農業経営の意向に関するアンケート調査

～ 地域農業の継続的な発展のために ～

平素より、加賀市農業委員会の運営に格別のご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
ごさいます。

さて、農業者の皆様を取り巻く現在の環境は非常に厳しい状況にあり、担い手の不足や高齢化の進行などから耕作放棄地が増加し、経営耕地面積が減少する傾向にあります。

そこで、耕作放棄地の発生防止と解消を図り、地域農業の継続的な発展を期するため、地域農業の中核を担われる認定農業者の皆さんを対象に、5年後、10年後といった近い将来、ご自身の農業経営をどのようにしていきたいと考えておられるのか、そのご意向を把握し、これから耕作できなくなる農地を所有しておられる方と今後経営規模の拡大を考えておられる方をつなぐため、このアンケート調査を実施することといたしました。

この調査で得られた結果については、今後の農地利用の集積・集約化の推進や各種農業施策の有用な基礎データとして活用してまいりたいと考えております。

つきましては、何かとお忙しいところ大変お手数をお掛けいたしますが、このアンケート調査の趣旨をお汲み取りいただき是非ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和元年 10 月

加賀市農業委員会 会長 小川 廣行

【アンケート調査の概要とご留意いただきたい事項】

【調査対象者】

市内に居住する 65 歳未満の認定農業者の皆様

ただし、65 歳以上の認定農業者を対象とした昨年度調査で年齢基準日の関係で調査対象にならなかった 65 歳以上の方及び新たに認定農業者になられた 65 歳以上の方も調査対象としています。

【調査票の記入方法】

回答は、「1 つに○」と記載されている設問はひとつだけを、「当てはまるものすべてに○」と記載されている設問は当てはまるものすべてを選択し、番号に○印をつけてください。

なお、その他を選択された場合は、カッコ内に具体的にご記入ください。

【個人情報の取扱いに係る同意のお願い】

このアンケート調査で収集したデータは、加賀市農業委員会が実施する農地利用の最適化の推進のための各種施策に活用させていただきたいので、調査票冒頭の「個人情報利用に係る同意欄」に署名、押印をお願いいたします。

調査により回答いただいた事項の個人情報利用に係る同意欄

この調査による回答内容を加賀市農業委員会において農地利用の最適化の推進のための業務に活用することについて異議のない旨同意します。

令和元年 ____ 月 ____ 日

住所 加賀市

氏名 _____ (印)

ここからアンケート調査が始まります。回答は、認定農業者ご本人がお答えください。

現在の農業経営の状況についてお伺いします。

問1 あなたの農業経営形態について教えてください。(1つに○)

- 1 専業農家（農業収入のみ）
- 2 第1種兼業農家（農業収入が多い）
- 3 第2種兼業農家（農業以外の収入が多い）

問2 あなたの農業経営規模（農地面積）について教えてください。回答は、自作地と借入地に分けていただき、正確な数値が分からない場合は、おおよその数値でお答えください。(それぞれ1つに○)

【自作地】

- 1 50アール未満
- 2 50アール以上1ヘクタール未満
- 3 1ヘクタール以上2ヘクタール未満
- 4 2ヘクタール以上5ヘクタール未満
- 5 5ヘクタール以上10ヘクタール未満
- 6 10ヘクタール以上
- 7 自作地なし

【借入地】

- 1 50 アール未満
- 2 50 アール以上 1 ヘクタール未満
- 3 1 ヘクタール以上 2 ヘクタール未満
- 4 2 ヘクタール以上 5 ヘクタール未満
- 5 5 ヘクタール以上 10 ヘクタール未満
- 6 10 ヘクタール以上
- 7 借入地なし

今後の農業経営についてお伺いします。

問3 あなたの農業経営の方法について、今後見直しを考えていることはありますか。（当てはまるものすべてに○）

- 1 見直しを考えていることはない
- 2 ハウス栽培など施設化を進めたい
- 3 省力化（機械化）を進めたい
- 4 IoTを導入したい
- 5 多くの種類の作物を栽培したい
- 6 特定部門の作物を栽培したい
- 7 農産物を自分で販売したい
- 8 農産物の加工を行いたい
- 9 その他（)

問4 あなたが耕作されている農地について、今後、拡大又は縮小の意向はありますか。（1つに○）

- 1 現状を維持する ⇒ **問7**にお進ください。
- 2 規模を拡大したい ⇒ **問5**にご回答後、**問7**にお進みください。
- 3 規模を縮小したい ⇒ **問6**にお進みください。
- 4 農業経営をやめたい ⇒ **問6**にお進みください。

問5 **問4**で「2 規模を拡大したい」に○印をつけられた方にお伺いします。どのような方法で規模を拡大されますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 農地を購入する
- 2 農地を借りる
- 3 農作業を受託する
- 4 その他 ()

問6 **問4**で「3 規模を縮小したい」又は「4 農業経営をやめたい」に○印をつけられた方にお伺いします。そう思われた理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 農業後継者がいないから
- 2 高齢や病気などで十分に働けないから
- 3 農業に魅力がなく、先行きが不安であるから
- 4 その他 ()

農業の担い手についてお伺いします。

問7 あなたのご家族やご親戚などにあなたの農業経営を引き継ぐ方はおられますか。(1つに○)

- 1 農業後継者がいる(本人の意思確認済み) ⇒ アンケートは終了です。
- 2 農業後継者がいない
- 3 わからない(幼少などのため本人の意思未確認)

問8 **問7**で「2 農業後継者がいない」又は「3 わからない」を選択された方にお伺いします。あなたのご家族やご親戚にあなたの農業経営を引き継ぐ方がおられない場合に、どのように対応されますか。(当てはまるものすべてに○)

- 1 認定農業者等地域の担い手に任せたい
- 2 営農組合等集落営農組織に任せたい
- 3 農地所有適格法人に任せたい
- 4 その他 ()

アンケート調査は以上です。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。